

情 報

更生の花は
慈愛の土に咲き



文京区保護司会

主唱 / 法務省
MINISTRY OF JUSTICE

がんばれるのは、
どんなときだろう。
踏ん張れるのは、
どんなときだろう。

自分を認めてくれるひと言。
肩をたたく手の温かさ。
遠くから見守るそのまなざし。

待っている人の
存在に気づいたとき、
立ち直れると信じられる。

たとえ時間がかかっても。
進む、希望とともに。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第75回 社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行から立ち直ろうとする人たちを支え、
新たな被害者も加害者も生まない安全・安心な地域社会を目指す国民運動です。

社明 しゃめい Q 検索

更生ペンギン
サウちゃん 更生ペンギンの
ホコちゃん



『情報』は文京区ホームページからもご覧になれます。

INDEX

ごあいさつ	2
地域活動紹介「部活動地域移行の今」	4
第75回 社会を明るくする運動	6
令和6年度三者懇談会	7
令和7年度文京区保護司会定時総会	8

福祉政策課地域福祉係紹介	8
新任保護司紹介	9
会務報告	10
更女だより	11
ホッと一息 あとがき	12

御挨拶

文京区保護司会 会長

山本 諭

令

和七年五月の総会において新しく会長に選ばれました山本です。会員、関連する各団体の皆様には前執行部同様に会の活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。



基本的な考えとしては、あくまでも私どもは任意の善意の集まりであるという事を念頭に会務を行いたいと思います。具体的には各事業の再検討整備そして各部各地区で何をしているのか、役が付いていない会員にも解かりやすい運営にしてゆく。ただし決して急がずに話を進める。そして執務を行うにあたり、文京区だけではなく多くの保護司会で、会員を増やすことが命題になっていますが、これは会運営のし易さにも繋がりますので引き続き注力して行くつもりです。

仕事量が増える場面もあるかと思いますが風通しの良い会とするためにも是非ご協力をいただきますようお願いいたします。



持続可能な保護司制度の確立に向けて

東京保護観察所長

杉山 弘晃

文

京区保護司会の皆様、関係機関の皆様には、日頃から、更生保護の諸活動に様々な御支援・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



長年にわたる皆様のお力添えのお陰を持ちまして、昨年、更生保護制度は75周年という大きな節目を迎え、記念式典では「時代の変化に対応しながら、地域に貢献する更生保護を次世代に継承するため、未来に向かって強く歩みを進めていく」という心強い宣言がなされました。

また、保護司の皆様は、地域社会の安全・安心の実現のために欠くことのできない大切な存在ですが、法務省に設置された有識者等による「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会」の報告書が取りまとめられましたので、これを受けて、今後、保護観察所におきましては、皆様に安心して保護司活動を継続していただくための取組に加え、幅広い世代から様々な分野の皆様を保護司に迎え入れるため、1人でも多くの方に保護司活動を御理解いただくための取組実施に一層努めてまいります。

本年は、長年にわたり皆様に御協力いただいている「社会を明るくする運動」が節目の第75回目

を迎えました。共通の取組方針としては、将来の「希望」に向けて「人が変わっていくことを待つ」という更生保護の活動理念を通して、広く各層に向けて更生保護ボランティアの存在の一層の理解を得るなどが目指されています。

また、昨年4月にオランダ・ハーグで行われた第2回世界保護司会議において、4月17日が「国際更生保護ボランティアの日」と定められたことから、本年は各地でこれを祝うセレモニーが開催されました。

保護観察所におきましては、これらの機会も活用しつつ、地域の皆様から厚い信頼を得て、様々な活動をしてくださる保護司の皆様の存在を、より多くの方に知っていただく努力をしてまいりますので、引き続き、更生保護の諸活動に御協力を賜りますようお願い申し上げます。

「皆様の活動に支えられて」

文京区福祉部長

鈴木 裕佳

日

頃より、保護司会の皆様方におかれましては、更生保護事業にご尽力いただきまして心より御礼申し上げます。



昨年度は、初めて保護司会が中心となり展開し

ている「文京区社会を明るくする運動」に参加をさせていただきました。歴代の保護司会の皆様をはじめとした更生保護に携わる方々の思いをつなぎながら、長年この事業に取り組んでこられたことに對して心より敬意と感謝の意を表します。

また、今年も7月には、「社会を明るくする運動 東京ドーム周辺広報啓発活動」、「文京矯正展」及び「社会を明るくする大会」がごさいます。文京区保護司会の皆さまに中核を担っていただくとともに区側も頑張つてまいりますのでよろしくお願いいたします。

児童虐待や闇バイト等による悲しい事件が後を絶ちませんが、その背景には孤独孤立の課題があると考えられており、社会生活の基本となる家族や地域とのつながりの大切さを改めて実感しているところです。

不透明な社会情勢のもと、地域の繋がりに重きを置き、何が出来たのか、現代の課題と真摯に向き合い、相談や支援、啓発活動に取り組んでおられる皆様のお姿は大変頼もしく、心強く思っております。

文京区では、令和7年度から文京区児童相談所が開設しました。子どもの最善の利益が守られるよう、区と地域の関係機関等が協力し、総合的な相談・支援体制を切れ目なく強固にすることが不可欠です。そのためにも文京区保護司会の皆様には地域に根ざした地道な活動を継続していただきたいと思います。

今年度も、地域における青少年健全育成施策の中心的な役割を担う皆様方と、子どもたちが健やかに成長することの出来る地域環境をと共に創り上げて

まいりたいと存じます。

今後とも皆様方のなお一層のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年度を迎えてのご挨拶

東京保護観察所保護観察官

荒井 智深^{ともみ}

文

京区保護司会の皆様、関係機関の皆様におかれましては、日頃から更生保護の諸活動にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。



文京区主任官を拝命して3年目となる今年は、社会を明るくする運動75周年の節目にあたります。文京区福祉部が中心となって、非行や犯罪のない明るい地域づくりのための各種活動にご尽力賜りますことに心から感謝申し上げます。昨年度の初めに大津の事件があり、保護司の先生方には大変ご心配をおかけしました。ちょうど時期を同じくして研修で地区を不在にし、先生方のご不安の「今その時」に寄り添えないことを大変心苦しく思いながら、地区に戻ってから電話で先生方の思いをお聞かせいただく中で、「文京区の保護司は皆、対象者の味方の立場だから、怖いと思ったことはないよ。」と心強いお言葉をいただきました。

先生方とお話する中でしばしば「性善説と性悪

説」がテーマになることがあります。私なりに整理してみますと、孟子は『性善説』で、「人間の本性は善であり仁・義を先天的に具有し、それに基づく道徳的生き方」を説き、一方、荀子は『性悪説』で、「人間は欲望を持つため、その本性は悪であるから、法令による秩序維持を重んじる」と説いています。が、「人間は善だから、悪にならないよう頑張ろう」と「人間は悪だけど、善になるよう頑張ろう」という、性善説・性悪説ともに、【人間は頑張つたら何とかなる】という人間の根源的可能性を信じている説で、それはまさに、保護観察官が求め、保護司の先生方が対象者の改善更生を信じて関わってくださる姿勢と同じく両輪の思想だと思っています。

また、ある実業家の『性弱説』という説では、「人間は弱い生き物だから悪いことをしてしまう。悪いことをしないように環境や仕組みを整えよう」という環境アプローチ型の取り組みは、生活環境調整や、社会を明るくする運動等で地域の皆様と共に取り組んでいる諸活動にあたるどころかと考えています。

おつて、昨年度は、文京区から春と秋4名の先生方が叙勲・褒章の荣誉に浴され、文京区保護司会の活躍が広く知られる名誉な年に担当させていただき幸甚に存じます。今後とも、共に更生保護の両輪として歩みを進めていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



部活動地域移行の今

部活動指導員

AXE Labo 主催

田中充広

部活動の大改革

私達が当たり前の事と思っていた部活動が、学校単位の取組から地域単位の取組としていく方向性を2019年に国が示しました。

2023年度から2025年までの3年間で、改革推進期間として、地域の実情に応じて可能な限り早期実現を目指すというものです。

学校を中心にスポーツや文化芸術活動を支えて育んできた部活動が姿を変えていくのです。価値ある教育活動である部活動を少子化が進む中で、子供達が継続し親しむことができるようにするというものです。

改革推進期間では、休日の部活動は合同部活動や部活動指導員の配置で地域と連携することや、学校外の様々な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することを目指すことを求めています。

年々、部活動は難しくなっています。その背景には生徒数減少、特に公立校では部員の

減少で、部の存続の危機に見舞われています。もうひとつには教員の働き方改革であり、業務軽減で部活動

を学校から地域へ移行するという動きです。そのような理由で部活動が大改革されます。

この問題は学校だけでは解決できずスポーツ庁・文化庁・文部科学省から指針が示され、推進されています。

「私が信じた部活動」の行方

私は定年まで高校の体育科教員として働かせていただきました。教員になる動機の大きなひとつとして、部活動で生徒と共に充実感や達成感を味わいたいことでした。

公立校教員は異動があり7校経験しました。



地域クラブでの小学校・中学校合同練習

行く先々の学校でバスケットボール部顧問・コーチとして毎日が充実した教員人生でした。練習がうまくいったかな、勝った負けたで一喜一憂し、生徒が本気で取り組む部活動は人生まで影響すると確信しました。教員の多くの業務の中でも、最も力を入れ、盆も正月もなく寝食を忘れ情熱を注ぎ、とても満ち足りた時間でした。

65歳の退職を機に高校を離れ、港区・文京区で中学校の部活動指導員としてバスケットボールを指導しています。現場において「私が信じた部活動」がどのように形を変えていくのかを、この目で見たかったという理由からです。

私が行った公立学校では指導に当たる部活動は瀕死の状態でした、部員不足で単独校でチームが組めない。練習もままならない。やりたい部活動がない。専門な指導ができる教員がいないう事も影響しています。そのような中でも部活動を頑張ろうという生徒がいて、部活動を指導したいと思っている教員もいます。混沌とした状況で早急に地域移行への整備が進められ、現場は試行錯誤しています。

港区の事例

勤務する港区の中学校では昨年度から教員が部活動顧問としての業務を外れ、部活動に関するすべての業務を部活動指導員が行っています。

港区では人材派遣会社と契約し、指導員が会社の契約社員として所属し、全中学校の全部活動に外部指導員を配置する仕組みです。それにより教員が部活動顧問に就かず、外部指導員が部活動全てを行う、言わば「丸投げ」というような状態です。

職務として実技指導、安全障害予防、学校外引率、大会運営、保護者への連絡や年間月間計画、指導計画の作成、情報交換など今まで教員が行ってきた部活動の仕事を部活動指導員が行うのです。

派遣される前にオンラインでの研修はあるも



地域クラブでの中学校教諭による指導

の教員経験者や、ベテランのクラブチームのコーチ経験がないと全てをこなす事は困難で、こなせる人材が少なく、指導員が不足という状況です。部活動は教員が関わらないので、放課後の部活動での怪我は、外部委託であるため保健室では処置をしないということが起きたりもしました。

また、休日の大会で部員の膝の大怪我が起きた時には、プライバシー保護観点から家庭の連絡先も知らされておらず対応が遅れました。

また、創部や休部、廃部については学校が検討し決定していましたが、学校が関与しないことで不都合が起きたりもしています。

文京区での推進

文京区は、会計年度任用職員として救急救命の資格を獲得した上で採用されます。従来通り教員が顧問となり指導員とともに指導にあたります。

区は学校と地域が連動した環境を整備し大会の見直し、地域クラブの大会参加、教員が引率しない体制作りを推進しています。学校が中心となり近い将来には地域クラブと連携した部活動作りを模索しています。

指導にあたる中学校では、休日の練習は地域クラブの活動に生徒が参加し、全国大会にまで駒を進めた例もあります。学校と地域クラブが連携した好結果ではないでしょうか。そこに

は「丸投げ」ではなく、教員と部活動指導員が協力連携し運営できた結果でしょうか。両区とも形態こそ違いますが移行に向けて進んでいます。

地域の実情に見合った部活動を

2年の経験から思うところは、部活動指導を地域の人達やスポーツ団体に行ってもらうことが趣旨であるが、かなり難しいという感想です。その理由として絶対的な指導者不足があり、指導者に相応な報酬を払われているとは思えない状況です。学校が開放されておらず活動場所が少ない問題もあり、「人・箱・金」を解決が先決と考えます。

そして、学校と地域が連携し十分な検討の上で、学校がハブとなつて部活動移行のサポート体制を整えて行いべきであると思います。

教員に長年に渡り「タダ」でやらせていた部活動を「丸投げ」するのではなく、相応の報酬を払い、活動場所を提供する体制を整え、指導者の育成を図り、「丸投げ」するような場当たり的な感覚を捨て、学校教員と外部指導員及び地域が連携できるスタンスで地域移行しなければスムーズにいかないと思います。

「教育は百年の計」と言われます。日本独自の文化である部活動が大転機を迎えて、子供達の将来を見据え、地域の実情に見合った部活動地域移行であることを期待しています。

第 75 回 社会を明るくする運動

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。文京区では「文京区社会を明るくする運動推進委員会」を組織し、例年地域に根ざした運動を実施しています。

犯罪からの立ち直りには本人の努力はもとより、周りの人の応援や地域の中に「居場所」があることが大きな後押しになります。立ち直ろうとする人を受け入れ、支える方法はさまざまです。何が出来るかを一緒に考え、出来ることから始めてみましょう。

第75回“社会を明るくする運動”のキャッチフレーズは、「Time with Hope—進む、希望とともに。」です。



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第75回 社会を明るくする運動



文京区社会を明るくする運動推進委員会（構成 30 団体）

- | | |
|--------------------|------------------|
| ・文京区 | ・文京区町会連合会 |
| ・文京区保護司会 | ・文京区民生委員・児童委員協議会 |
| ・文京区更生保護女性会 | ・文京区社会福祉協議会 |
| ・文京区青少年健全育成会（9 地区） | ・少年補導員連絡会（4 地区） |
| ・文京区立小学校長会 | ・防犯協会（4 地区） |
| ・文京区立中学校長会 | ・文京区青少年委員会 |
| ・文京区立小学校 PTA 連合会 | ・文京区商店街連合会 |
| ・文京区立中学校 PTA 連合会 | ・東京青年会議所文京区委員会 |
- （順不同）

東京ドーム周辺広報啓発活動

日 時：令和 7 年 7 月 5 日（土）15 時 45 分～

＊小雨決行

場 所：東京ドーム周辺 等

＊セレモニーはラクーアガーデンステージ

内 容：啓発用ティッシュ・リーフレット等を配布し、運動の趣旨を呼びかける。



文京区社会を明るくする大会

日 時：令和 7 年 7 月 13 日（日）13 時開場 13 時 30 分開会

会 場：文京シビックホール 小ホール

内 容：(1) 青少年の意見発表（音羽中・第一中・第三中）

(2) 講演「自分らしく生きる」

講師：瀧澤諒斗氏（デフサッカー代表候補）



文京矯正展

日 時：令和 7 年 7 月 17 日（木）～ 19 日（土）

9 時 30 分～ 16 時（最終日は 15 時まで）

会 場：文京シビックセンター地下 2 階 区民ひろば

内 容：刑務所作業製品の展示・販売 等



写真はすべて昨年度の様子です。 いずれも状況に応じて中止・延期、または規模を縮小する場合があります。

保護司会・更生保護女性会・東京実華道場 令和6年度 三者懇談会

大塚班 柑本美和

日時：令和7年3月13日（木）15:00～17:00

場所：東京実華道場ステップ押上

参加者：文京区保護司会、文京区更生保護女性会、東京実華道場ステップ押上 計28名



ステップ押上

東 京実華道場ステップ押上は、令和5年3月に閉鎖されたステップ竜岡と一体となり、令和6年9月に新たな施設として生まれ変わりました。新施設は、4階建てで、白を基調とした明るく洗練された外観が特徴です。1階には、道路から直接入室でき、地域住民も利用可能な『集会室兼地域交流室』が設けられており、そこをお借りして、令和6年度の三者懇談会が実施されました。

冒頭、森山理事長のご説明では、まず、新施設の特徴や建設に至るまでの経緯についてお話がありました。特に、建設にあたっては資金面でのご苦労や、墨田区集合住宅条例施行規則の遵守に向けた努



力が語られました。また、施設の構造や設計に関する特徴についても詳しい説明がありました。例えば、施設内はほぼバリアフリー仕様で、居室は全室南向きの個室であること、エレベーターの設置は

更生保護施設としては珍しいこと等です。さらに、コロナ禍での経験を踏まえ、廊下の中央には間仕切り用の壁を設け、東西それぞれに階段を配置することで、必要に応じて空間を分割して使用できる柔軟な設計となっている点についての説明もありました。

近年、更生保護施設への収容委託人員は減少傾向にあり、特に地方ではその影響が深刻となっているそうです。そうした中にあっても、ステップ押上では令和7年2月から収容率が100%を超える状況が続いており、訪問日時点では、定員30名（成人男子28名・少年男子2名）に対し34名（成人男子33名・少年男子1名）が収容され、対象者の施設への期待の高さが伺えました。

続いて、倉住福祉職員（当時・現補

導主任）から処遇面のお話があり、高齢又は障害者を受け入れる特別処遇指定施設としての役割、令和5年度に開始された特定補導についての説明がありました。現在、特定補導はC群の「社会適応訓練」として、中間処遇における外出同行、法律相談等が行われ、D群の「地域移行支援」として、男の料理教室、社会奉仕活動等が実施されています。この地域移行支援に当たっては、更生保護女性会の皆様の協力が不可欠とのことでした。

最後に、社会福祉士として特別処遇で重要な役割を担っている富田補導員から、ご自身が担当したケースの紹介がありました。

ステップ押上は、地域に根差した施設として、地元の業平二丁目町会と地域防災協定を締結し災害時の受け入れ体制を構築すると共に、365日・24時間、常に職員が在館しているため、緊急時の対応拠点として機能することも期待されているそうです。

この三者懇談会は、更生保護施設に求められる役割の多様化、そして地域社会におけるその存在の重要性を、改めて強く実感する貴重な機会となりました。

令和7年度文京区保護司会定時総会・懇親会

日 時：令和7年5月15日（木）16時開会

場 所：文京区民センター2A

出席者：66名（保護司49名）

来 賓：

文京区長、区議会議員、東京保護観察所長、文京区担当保護観察官、文京区更生保護女性会（会長・副会長・顧問）、所轄警察署、区立中学校長会長、区立中学校PTA連合会長、青少年委員会会長、町会連合会会長、社会福祉協議会事務局長、文京区福祉部長・福祉政策課長・地域福祉係長、桐友会（支部長・会員）



新体制の役員あいさつ

定

時総会は、多数の来賓をお迎えして開会、冒頭全員で「保護司信条」を唱和、出席者の中から浅川昇議長が選出され、

議事進行、

- ・令和6年度事業報告
 - ・令和6年度歳入歳出決算報告
 - ・令和6年度監査報告
 - ・令和7年度事業計画案
 - ・令和7年度歳入歳出予算案
- すべての議案が満場一致で承認されました。

本年度は、役員改選の結果、亀田一良会長から山本諭新会長へと会長職が引き継がれ、保護司会の新しいスタートとなりました。前会長は令和元年から6年間、コロナ禍を挟んで多大の労苦を担っていただき誠に苦勞様でした。

来賓の皆様からは、保護司・保護司会の日頃の活動に対する感謝や励ましのお言葉をいただきました。文京区における保護司・保護司会の活動が地域に根差した活動として、再犯防止や地域の連帯構築に役立っていることを再認識



杉山東京保護観察所長

しました。今後さらに、保護観察等の業務はもとより、「社会を明るくする運動」や関連団体との交流や関係構築を一層進めていきたいと決意を新たにしました。

総会後は懇親会を開催、成澤区長を始め来賓の皆様からお言葉を頂戴し、和やかにお弁当をいただきながら親睦を深めて締めくくりました。

（総務部 加藤恵子）

福祉部福祉政策課 地域福祉係の皆さん



【後列】 横川さん 須藤さん 佐藤さん 守住さん
【前列】 係長 宮原さん 課長 篠原さん



駒込班

瀧田 巖陽 たきた みねあき

一 昨年の秋より保護司会

の末席に加えさせて頂いた駒込班の



瀧田です。小学校のPTAで活動している時に保護司の役割に感銘を受け、その活動の一旦を担いたいとご縁を賜りました。

就任以来、先輩保護司の皆様には温かくご指導を頂き、心より感謝申し上げます。微力ながら、更生保護と地域の安全に寄与出来るよう努めて参ります。

罪を犯した方が再び社会の中で自分の居場所を見つけられるよう、また防犯更には犯罪を防ぐ前の犯罪の芽をつむ活動にも力を注ぎ、安心できる地域作りに努めて参ります。

今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

富坂班

内堀 麻美 うちぼり あさみ

私を保護司にと推薦してくだ

さった方は私の茶道の師であり、いつもお忙しそうで、でも



楽しそうにされていて、何をされていらつしやるのだろうか?と思つていましたところ、「あなた保護司にならないか?」とお声掛けくださいました。

保護司だなんて私には荷が重いと幾度かお断りさせていただいていましたが、先生のお人柄とお話をお聞きしているうちに、自分でも何か社会のお役に立てるのでは?と思ひ引き受けさせていただきました。

いろんな勉強会があり、知らない事がたくさんあります。サポートセンターの当番の時に先輩方のお話をお聞かせいただいたり、担当小学校の行事に先輩保護司の先生と参加させていただいたりとしつづつですが慣れてきたように思っています。そして、保護司になったことで文京区にたくさんのお知り合いができて嬉しく思っています。

対象者の方を受け持つとはどういう感じなのだろう?と少し不安に思ひながら、少しでもお役に立てるならと勉強していきたいと思つています。

大塚班

柑本 美和 こうじもと みわ

高校2年生の時に、『まゆ

みー非行少女と女性保護司の記録』



(清川彩子さん著)を読み、「保護司」という言葉に初めて出会いました。当時は、『積木くずし』『不良少女とよばれて』などのドラマが放映された直後で、非行が大きくクローズアップされていました。少女の

立ち直りに、親でも学校の先生でもない大人が「保護司」として関わっていた事実に、とても衝撃を受けたのを鮮明に覚えています。

時を経て、その保護司という重いお役に、2024年12月に委嘱頂きました。2019年に文京区に移ってきたばかりで、ここでの地域活動経験を持たない私を保護司にと推薦くださった先輩方には感謝の気持ちしかありません。

少しでもお役に立てるよう努めたと思つております。今後とも、ご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。

本富士班

多田 あい ただ あい

私 は令和6年12月に保護

司を委嘱されました。現在は障害者



福祉に関わる仕事をしながら、社会福祉士として罪を犯した人たちを支援する刑事司法ソーシャルワーカーとしての活動をしています。

東京拘置所等に面会に行き、アセスメントを繰り返しながら当事者と共に更生支援計画書を作成、支援を実践します。時には公判で証人尋問を受けることもあります。

判決後支援を継続しながら、切れ目なく当事者の更生支援(再犯防止)に関わるチームにバトンを渡す、大切な役割を担っています。

この経験を住み慣れた地域に還元することはできないものかと考え、保護司として新たなフィールドに挑戦することとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

会務報告

■国際更生保護ボランティアの日

令和7年4月17日(木)
11:00～12:40
於…東京都庁都民広場
出席者…10名
式典及びパレードへの参加
(伊藤記)



■令和7年度定時総会・懇親会

令和7年5月15日(木) 16:00～19:00
於…文京区民センター2A
出席者…49名
令和6年度事業報告、決算報告、監査報告
令和7年度事業計画、予算案
役員選挙委員会報告、新会長に山本諭氏
(伊藤記)

■合同班会

令和7年2月5日(水) 18:30～20:15
於…文京区民センター13A
出席者…37名 他2名
保護観察所における薬物事犯者に対する取組
講師…長谷川統括保護観察官 (西川記)

■第三期定期研修

令和7年2月18日(火) 14:30～17:00
於…文京区民センター2A
出席者…39名
被害者等の思いに込める更生保護とよく
罪指導プログラム (市川記)

■第1回自主研修

令和7年5月27日(木) 18:00～19:45
於…文京シビックセンターシルバーホール
出席者…32名
対象者…環境調整を行っている6名からの
事例発表 (市川記)

■第2ブロック保護司組織運営連絡協議会 意見交換会

令和7年2月8日(土) 18:00～20:00
於…台東区花川戸鮎忠
出席者…4名 他16名
今年度の振り返り、次年度の確認(伊藤記)

■正副会長会議

令和7年4月1日(火) 18:30～19:30
於…文京区民センター4A
出席者…8名
定時総会に向けての準備内容検討
理事役員会で出された意見内容について検討
(伊藤記)

■令和7年5月1日(木)

18:30～19:40
於…文京区民センター4A
出席者…8名
新年度保護司会定時総会、自主研修につい
て (伊藤記)

■理事役員会

令和7年4月14日(月) 18:30～20:00
於…大原地域活動センター
出席者…22名 他1名
令和6年度会計報告、監査報告、承認
令和7年度予算案承認
新会長選任報告 (伊藤記)

■地域活動部会議

令和7年4月21日(月) 13:30～14:00
於…音羽中学校
出席者…関口 他2名
「文京区社会を明るくする大会」意見発表
の依頼 (水木記)

■令和7年4月22日(火)

13:30～14:00
於…第三中学校
出席者…関口、石渡他2名
「文京区社会を明るくする大会」意見発表
の依頼 (水木記)

■令和7年4月25日(金)

16:00～17:00
於…第一中学校
出席者…伊古田 他2名
「文京区社会を明るくする大会」意見発表
の依頼 (水木記)

■社会を明るくする運動東京都推進委員会・ 実務者会議Web

令和7年4月22日(火) 14:00～14:50
自宅・Web会議
前年度の会計報告、今年度予算の説明

■社団運動の趣旨説明、広報方法の説明

(水木記)

■広報部会議

令和7年3月7日(金) 18:30～20:10
於…文京区民センター3B
出席者…9名
情報586号校正作業及び会議 (山田記)

■令和7年3月28日(金)

13:30～14:50
於…文京シビックセンターシルバー4A
出席者…9名 他6名
情報586号送付作業及び会議 (山田記)

■本富士班会

令和7年2月12日(水) 18:30～20:45
於…湯島ガーデンパレス築地植むら
出席者…13名
新会員1名の報告、次期世話人決定
(根尾記)

■駒込班世話人会議

令和7年4月8日(火) 13:00～14:30
於…水木保護司自宅マンションロビー
出席者…3名
世話人引継ぎ、第1回班会内容打合せ
(水木記)

■保護司が参加した行事

東京都保護司代表者協議会
令和7年3月19日(水) 13:30～16:00
於…東京保護観察所集団処遇室
今年度事業計画、予算について (亀田記)

■東京都保護司会連合会理事會

令和7年3月19日(水) 16:00～17:00
於…東京保護観察所集団処遇室
令和7年度事業計画予算について
ブロック別保護司組織運営連絡協議会の協
議について (亀田記)

■文京区更生保護女性会総会

令和7年5月14日(水) 13:30～15:00
於…文京シビックセンター2102
2103会議室

出席者…5名 他68名
令和6年度事業報告、決算報告、監査報告
令和7年度事業予定、予算案 (伊藤記)

■その他外郭団体への参加

青少年問題協議会幹事会
令和7年2月27日(木) 18:30～19:30
於…文京シビックセンター3F会議室
出席者…2名 他24名
議題の説明、質疑応答 (伊藤記)

■区民センター関係機関連絡会

令和7年3月24日(月) 15:00～16:00
於…文京区民センター2B
区民センター維持管理等について (亀田記)

■文京アカデミー理事会

令和7年5月12日(月) 10:30～11:40
於…文京シビックセンターB1会議室
令和6年度事業報告、会計報告、監査報告
令和7年度予定、予算案 (伊藤記)

■文京区立中学校PTA連合会 懇親会

令和7年5月23日(金) 18:30～20:20
於…文京区民センター13A
中P連会長挨拶、感謝状贈呈他 (山本記)

その他、区立小中学校の行事、学校運営協
議会、学校運営連絡協議会等に出席

令和7年春の叙勲

当会会員の本間和久氏が消
防功労および教育功労により
瑞宝双光章を受章されました。

新任保護司

令和7年5月15日付
駒込班 鈴木 利明氏

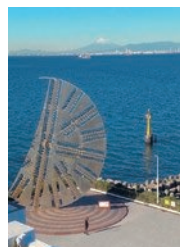
文京区更生保護女性会 令和6年度管外研修に参加して

研修部副部長 出村 美子



令

和6年12月16日、コロナでス
トップしていたバスでの管外
研修が復活しました。研修の地と
なつたのは千葉県市原市にある『市
原青年矯正センター』。8時シビックセンター駐車場より総
勢36名で出発、まずは休憩で海ほたるへ。この日は雲一つ
ない晴れ渡った空、海原の向こうにくっきりと美しい富士
山を拝むことが出来ました。最初の立ち寄り先『はちみつ
工房』では施設見学とはちみつ飲料の試飲、添乗員さん
一押しのソフトクリームを平らげ昼食先の『房総四季の蔵』
へ向かいました。こちらでも籠に入った色々な小鉢にお刺
身と十分な腹ごしらえをし一路『市原青年矯正センター』へ。
こちらは旧市原学園（少年院）を転用した刑事施設とし
て令和5年4月に開設され、11月から収容を開始した
そうで対象は発達上の課題を持つ、犯罪傾向が進んでい
ない、入所時におおむね16〜26歳未満の若年受刑者です。
会議室でのビデオ研修後、施設を案内していただきました。



鍵のかかつていない部屋・号令無し・共同トイレといった半開放的な処遇環境や自己理解を施す指導、学力の学び直し、複数担任制の導入、特性を踏まえた処遇、ビルクリーニング技能士等の就労を見据えた職業訓練など個々に応じたきめの細かい手厚い体制をとられています。こうした伴走支援を受けることが出来た若者たちはきつと更生への第一歩が踏み出せるのだらうという思いを抱かせてくれた研修でした。

令和7年度 文京区更生保護女性会 総会



日時 令和7年5月14日（水）13：30〜15：00
場所 文京シビックセンター 2102・2103会議室
出席者 来賓10名 会員・賛助会員60名 福祉政策課3名

成

澤文京区長代理として鈴木裕佳福祉部長はじめ、東京更生保護女性連盟の近藤悦子副会長、文京区保護司会の山本諭副会長にご来賓の代表としてご挨拶をいただきました。

総会の式次第がとどこおりなく進行いたしましたことはご出席の皆様のご協力のおかげと感謝を申し上げます。

今年度は規約第3章第5条により役員改選にあたり、3期6年の任期を努めた時田千里前会長から新たに西川素子さんを新会長として承認されました。すでに総会終了後からは西川新会長を中心に7年度の運営にむけて活動を始めております。

更生保護女性会は更生保護事業に進んで協力し、犯罪や非行のない明るい社会を実現しようとするボランティア団体です。活動目標のひとつに「私たちは、人間尊重とお互いに他を思いあい、連帯しながら、だれもが豊かに生きられる明るい社会づくりを目指します」とあります。

これより、文京更女会員の皆様が仲良く楽しくボランティア活動に参加していける団体として、ますます発展していくことを期待していききたいと思います。

文京区更生保護女性会顧問 時田 千里





富坂班 名取頭一

なとけん日曜料理屋さん！

今から5年前、新型コロナウイルスが大流行し、我々の日常が一変した頃、私の予定も大幅な変更が余儀なくされた時期でした。週末には家にいる機会が多くなり、家族の「どうせ家にいるならにかすれば？」という問いかけに「じゃあ料理でもするか。コロナが終わるまで」と軽い気持ちで約束して60の手習いが始まりました。

最初はネットでレシピを調べ、調味料の分量も真面目に量り、作っていました。そうこうしているうちにせっかく作るならと自分のFBにアップしたところ、イイね、がつくようになり、コ



ナもいつまでたってもなくなる心配がなく、今まだ続けており、220回以上を数えるほどになりました。

当初は女房から「基本に忠実に作るから美味しくて当たり前」と言われていましたが、今では家族から今度の日曜日はなに？と声がかかるほどになりました。

今では日曜日になにを作ろうか

なと考える時が、ホッと一息の瞬間です。

本富士班 岡崎礼子

コロナ禍で家にいる時間が増え、ついスマホを手にしてはニュースを追い、SNSを見ていることが多くなっていたように思います。気づけば、家族との会話も減っていたような気がします。ちよつと反省。

スマホを置き、家族と一緒にコーヒータイム。何気ない会話に笑いがこぼれ、心がふわつとほどけていく感じがします。こんな時間こそ、きつといちばん大切な、ほっと一息の時です。



あとがき

先日、区役所からフレイル予防のチラシが送られてきました。仕事柄高齢者の体操教室等指導している立場なので、少しショックでした。普段はあまり年齢を意識することはないので、今回は意識せざるをえなくなりました。

「フレイル」とは「虚弱」という意味です。加齢とともに心身の機能が低下した状態で、簡単に言うと元気で健康な状態と要介護状態の間の状態です。原因として身体面、心や認知、社会性の低下の3つの要素が絡んで進みます。これらのことを意識しながら生活し「健康寿命」を延ばし保護司活動を継続していきたいです。

現在65歳以上の人口が29・3%と過去最高です。さて文京区保護司会は…？

原稿をご寄稿下さった方々に感謝申し上げます。皆様の協力で成り立っていますので、今後ともご協力の程宜しくお願い申し上げます。

市原功

〈広報部〉 堀内 山田 大橋 米岡 浅川

根尾 岸田 岡崎 西川 山口(青)
塩川 市原 菊川

情報 第五八七号

編集 文京区保護司会 広報部

発行人 文京区保護司会会長 山本諭

事務局 文京区春日一六二一

文京区役所福祉政策課内

印刷所 企画・宣伝協同組合

エコフィールド事業本部